

2023年2月3日号掲載



各地の話題

蔵王町

農業の魅力について語る ～女性農業委員として～



蔵王町でりんごを栽培している佐藤ゆりさん（66）はりんごを栽培しながら農業委員として11年活躍している。

以前は保育士として勤めながら夫の宏一さんの農作業を手伝っていたが、いつか自分も本格的に農業をしたいと考えていた。始めるなら元気なうちにと、定年前の退職を決意し、専業農家となった。自身の丸治(まるじ)農園では、甘く香り高いのが特徴で町の特産品であるりんご「はるか」を栽培している。

「保育士も農業のやりがいも同じで、人や作物が育っていく楽しみがとても魅力的だ。お客さんの反応を直接感じられることも大変やりがいがある」と話す。

委員の仕事についても「女性が意見を出して活躍する場が増えることはとても良いことだ。農業をより良く続けられるように女性ならではの視点や立場で活動していきたい。夫や家族も委員の活動に理解があるおかげで長く続けることができた」と家族の支えに感謝しながらやりがいを語った。食育活動にも興味があり「自分が作ったものを食べる喜びを多くの人に味わってほしい」と語る。



【記事提供：蔵王町農業委員会】